

**AKAI**  
PROFESSIONAL




---

**MPO 226**

ユーザ・ガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

## 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://akai-pro.jp/>

**AKAI**  
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

**インミュージック ジャパン**

**カスタマ・サポート部**

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## ユーザ・ガイド

### はじめに

#### 同梱品

- ・ MPD226
- ・ USB ケーブル
- ・ 1/8" - MIDI 変換ケーブル x 2
- ・ Software Download Cards (英文)
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

**重要** : MPD226 の製品ページ ([akai-pro.jp/mpd226](http://akai-pro.jp/mpd226)) にアクセスして、MPD226 Editor ソフトウェアをダウンロードしてください。

#### サポート

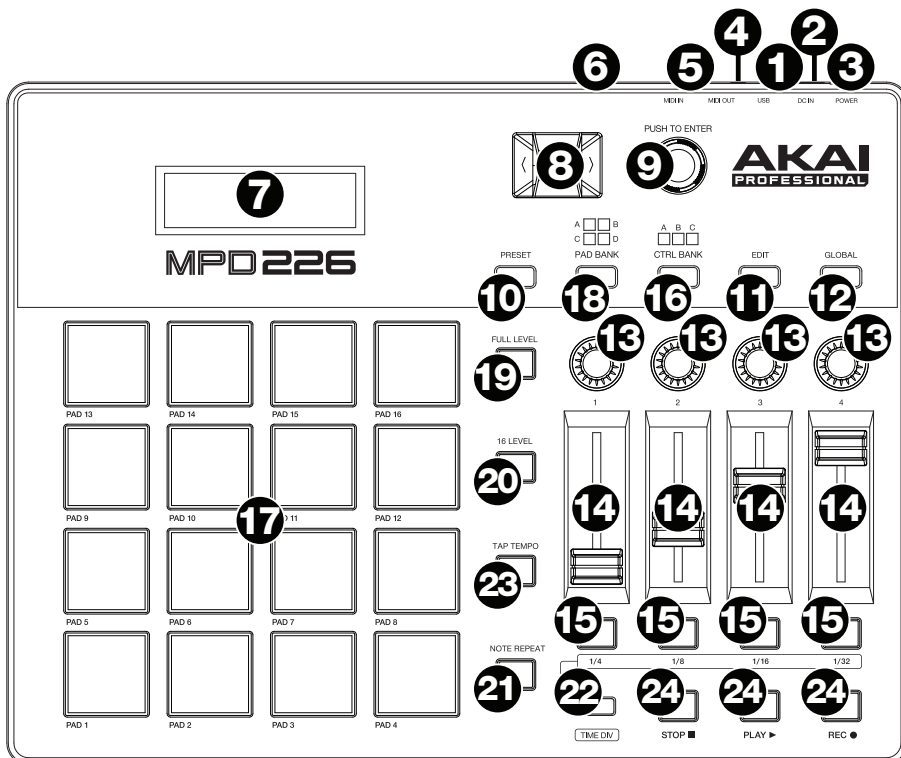
製品の最新情報 (システム要件や互換性情報など) は、AKAI professional のホームページ ([akai-pro.jp](http://akai-pro.jp)) にてご確認ください。また、製品のサポートについては [akai-pro.jp/support](http://akai-pro.jp/support) をご参照ください。

#### クイック・スタート

1. 付属の USB ケーブルを使用して、MPD226 の **USB** 端子とコンピュータの USB 端子を接続します。
2. コンピュータで DAW ソフトウェアを起動します。
3. DAW の設定画面で **MPD226** を MIDI 入力デバイスとして設定します。

**ヒント** : MPD226 を iOS デバイスと使用する場合は、以下の手順で接続します。

1. MPD226 の **上カーソルボタン**を押したまま、
2. Apple iPad Camera Connection Kit (別売) を装着した iOS デバイスと接続します。
3. MPD226 の電源を入れ、上カーソルボタンから手を離します。



- 1. USB 端子：**標準的な USB ケーブルを使用して、コンピュータの USB 端子と接続します。この端子で、電源の供給とデータの送受信を行います。USB ハブを経由して接続する場合は、お使いの USB ハブがセルフパワータイプであることを確認してください。
- 2. AC アダプタ端子：**別売の AC アダプタ (DC6V、1A、センタ+) をここに接続します。AC アダプタを接続することで、コンピュータを併用せずに、外部 MIDI デバイスのコントローラとして動作します。
- 3. 電源スイッチ：**このボタンを押して、MPD226 の電源のオン・オフを行います。
- 4. MIDI 出力端子：**付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルと 5 ピンの MIDI ケーブル (別売) を使用して、外部 MIDI デバイス (シンセサイザ、シーケンサ、ドラムマシンなど) の MIDI 入力端子と接続します。この端子に MPD226 の MIDI 信号を送出するには、各操作子の Edit モードの中で、「MIDI to DIN」の項目を On にします。詳しくは、後述の操作 > エディットモードの項目をご参照ください。  
**重要：**この端子にオーディオデバイス (特にヘッドフォンやスピーカなど) を接続しないでください。本体およびオーディオデバイスが故障する恐れがあります。必ず、付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルを接続してください。
- 5. MIDI 入力端子：**付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルと 5 ピンの MIDI ケーブル (別売) を使用して、外部 MIDI デバイス (シンセサイザ、シーケンサ、ドラムマシンなど) の MIDI 出力端子と接続します。ここから入力された MIDI 信号は、USB ケーブルを通じてコンピュータに入力されます。  
**重要：**この端子にオーディオデバイス (特にヘッドフォンやスピーカなど) を接続しないでください。本体およびオーディオデバイスが故障する恐れがあります。必ず、付属の 1/8" - MIDI 変換ケーブルを接続してください。

6. **Kensington Lock** : Kensington Lock を使用する際は、このスロットを使用します。
7. **ディスプレイ** : MPD226 のメニューやオプション、パラメータなどを表示します。
8. **カーソル** : これらのボタンを使用して、ディスプレイ内の項目を移動します。
9. **データダイヤル** : このダイヤルでパラメータの値や設定などを変更します。また、ダイヤルを押すことで、値や設定を決定します。
10. **PRESET** : このボタンを押して、プリセットモードに入ります。詳しくは、**操作 > プリセットモード**の項目をご参照ください。
11. **EDIT** : このボタンを押して、エディットモードに入ります。詳しくは、**操作 > エディットモード**の項目をご参照ください。
12. **GLOBAL** : このボタンを押して、グローバルモードに入ります。詳しくは、**操作 > グローバルモード**の項目をご参照ください。
13. **コントロール・ノブ** : これらの 360°回転のノブを使用して、ソフトウェアや外部 MIDI デバイスに MIDI 情報を送信します。
14. **フェーダ** : これらのフェーダを使用して、ソフトウェアや外部 MIDI デバイスに MIDI 情報を送信します。
15. **スイッチ** : これらのスイッチを使用して、ソフトウェアや外部 MIDI デバイスに MIDI 情報を送信します。**TIME DIV** ボタンが点灯している場合は、これらのスイッチで NOTE REPEAT 機能のタイムディビジョンを設定します。これらのボタンを一度押すと点灯し、それぞれ 4 分音符、8 分音符、16 分音符、32 分音符を、もう一度押すと点滅し、それぞれの三連符を、設定します。
16. **コントロールバンク (CTRL BANK)** : このボタンを使用して、**コントロール・ノブ**、**フェーダ**、**スイッチ** の 3 つのバンクを切り替えます。これにより、計 36 の MIDI パラメータにアクセスできます。
17. **パッド** : これらのパッドで、接続しているソフトウェアや外部 MIDI 音源のドラム音やその他のサンプルをトリガします。パッドは、ベロシティとプレッシャに対応していますので、反応が速く、直感的なプレイが可能です。
18. **PAD BANK** : このボタンを使用して、パッドの 4 つのバンクを切り替えます。これにより、計 64 の異なるパッドにアクセスできます。
19. **FULL LEVEL** : このボタンを押すことで、FULL LEVEL 機能をオンにします。FULL LEVEL 機能がオンになると、パッドを叩く強さに関わらず、最大ベロシティ (**127**) を出力します。
20. **16 LEVEL** : このボタンを押すと、16 LEVEL 機能がオンになり、最後に叩いたパッドの設定が、一時的に 16 個すべてのパッドにコピーされます。すべてのパッドは、最後に叩いたパッドと同じノート・ナンバしか出力できなくなりますが、叩く強さに関係なく、パッドの並び順にベロシティが 16 段階で出力されます。パッド 1 が一番低く、パッド 16 はフルレベル (ベロシティ 127) で出力されます。
21. **NOTE REPEAT** : このボタンを押しながらパッドを押すと、現在のテンポおよびタイムディビジョンの設定に基づくタイミングで、サンプルが繰り返してトリガされます。このボタンは、モーメンタリ・モードとトグル (ラッチ) ・モードで切り替えが可能です。  
**ヒント** : NOTE REPEAT 機能は、外部 MIDI クロックソースにも同期します。

22. **TAP TEMPO**：このボタンをタップすることで、テンポを指定できます。  
**重要**：この機能は、クロックソースが External に設定されている場合（外部 MIDI デバイスに同期している場合）には動作しません。
23. **タイムディビジョン (TIME DIV)**：このボタンを押すことで、上の 4 つのスイッチは NOTE REPEAT の音符設定ボタンとして機能します。モーメンタリ・モードとトグル（ラッチ）・モードで切り替えが可能です。  
**重要**：タイムディビジョン (TIME DIV) がオンになっている場合は、4 つのスイッチは MIDI 情報を送信しません。
24. **トランスポート・コントロール・ボタン**：この 3 つのボタンで、トランスポート・コントロール情報（停止、再生、録音）を送信します。これらの送信情報は、MMC、MMC/MIDI、MIDI Real Time、MIDI CC、PTEX (Pro Tools Express) の中から選択可能です。

## 操作

MPD226 には、以下の 3 つのモードがあり、それぞれボタンで選択できます。各モードについては後述の各項目をご参照ください。

**プリセットモード**は、プリセットの呼び出し、保存、コピーや名前の変更などを行い、フェーダやノブ、ボタン、パッドなどの設定状況を表示します。

**エディットモード**は、MPD226 のパッド、ノブ、フェーダ、ボタンなどの設定を行います。

**グローバルモード**は、MIDI コモンチャンネルや MIDI クロック設定、パッドのペロシティ・カーブや感度など、MPD226 の基本設定を行います。

## プリセットモード

プリセットモードでは、プリセットの呼び出し、保存、コピーや名前の変更などを行います。プリセットは、各フェーダやノブ、パッドなどの設定をまとめて管理します。異なる設定をそれぞれプリセットとして保存し、それらを簡単に呼び出して、素早く切り替えることができます。

**プリセットを呼び出すには：**

1. **PRESET** ボタンを押し、プリセットモードに入ります（通常、電源を入れると MPD226 はプリセットモードで起動します）。
2. **データダイヤル**で目的のプリセットを**ディスプレイ**に表示させます。
3. **データダイヤル**を押し、プリセットを選択します。操作をキャンセルし、現在のプリセットに戻るには、**PRESET** ボタンを押すか数秒間どのボタンに触れずに待ちます。

**プリセットを編集するには**、後述の**エディットモード**で行います。

**プリセットを保存するには：**

**重要**：プリセットを編集した後は必ず保存してください。

1. **PRESET** ボタンを押して、プリセット・モードに入ります。
2. **右カーソルボタン**を押し、ディスプレイに **Store Program** と表示させます。
3. **上下カーソルボタン**を使用して、保存先 (**Save To**) またはプリセット名 (**Name**) の項目に移動します。
  - ・ **保存先 (Save To)**：データダイヤルを使用して、保存先のプリセットを選択します。現在と同じプリセットを選択すると、上書き保存されます。
  - ・ **プリセット名 (Name)**：ダイヤルを回して点滅している文字を変更します。**左右のカーソルボタン**で変更する文字を移動します。
4. **データダイヤル**を押して保存します。保存後は、自動的にプリセットモードに戻ります。

## エディットモード

1. **EDIT** ボタンを押し、エディットモードに入ります。
2. エディットしたい操作子を押し動かすかして選択します。**ディスプレイ**には対応する設定可能なパラメータが表示されます。  
エディットモードの各ページにおいて：
  - ・ **上下カーソルボタン**で現在のページ内のパラメータを移動できます。
  - ・ 複数のページがある場合 (**Pg1** や **Pg2**…)、**左右カーソルボタン**でページを移動することができます。
  - ・ **データダイヤル**を回すことで、現在選択されている値を変更します。設定はすぐに反映されます。
3. 他の操作子を設定するには、上の**ステップ 2**の操作を繰り返します。

各操作子における設定可能なパラメータについては、以下の各項目をご参照ください。

### パッド (01～64)

**Type** : パッドを押して送出する MIDI 情報の種類を設定します。**Note** (ノート)、**Program Change** (プログラム・チェンジ)、**Program Bank** (プログラム・バンク)の中から設定可能です。

**MIDI Channel** : パッドから送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1**～**16**、**USB B1**～**16**から選択します。

**Note** : 上の Type で **Note** が選ばれている場合、ここで、ノートナンバを設定します。

**Aftertouch (Aft)** : 上の Type で **Note** が選ばれている場合、ここで、アフタータッチ情報を送出するかどうかを設定します。**Off**、**Chn**(チャンネル・アフタータッチ)、**Poly**(ポリ・アフタータッチ)の中から設定可能です。

**Program Number (または Pgm)** : 上の Type で、**Program Change** または **Program Bank** が選ばれている場合、ここでプログラム・ナンバを設定します (**000**～**127**)。

**Msb / Lsb** : 上の Type で、**Program Bank** が選ばれている場合、ここで **MSB** (Most Significant Bit) および **LSB** (Least Significant Bit) を設定します (**000**～**127**)。

**MIDI to DIN** : パッドから送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

**On Color / Off Color** : パッドを押した時 (On) と離れた時 (Off) の LED の色を設定します。**Off**、**Red**、**Orange**、**Amber**、**Yellow**、**Green**、**Green Blue**、**Aqua**、**Light Blue**、**Blue**、**Purple**、**Pink**、**Hot Pink**、**Light Purple**、**Light Green**、**Light Pink**、**Grey**の中から設定します。

**Note Mode** : 上の Type で、**Note** が選ばれている場合、パッドの挙動を、**Momentary** モード (パッドを押した瞬間に Note On 情報が送出され、離すと Note Off 情報が送出される) か、**Toggle** モード (一度パッドを押すと Note On 情報が送出され、次にもう一度押した時に Note Off 情報が送出される) に設定します。

## フェーダ (01~12)

**Type:**フェーダを操作して送出する MIDI 情報の種類を設定します。**MIDI CC**、**Aftertouch**(アフタータッチ)の中から設定します。

**MIDI Channel:**フェーダを操作して送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1~16**、**USB B1~16** から選択します。

**CC Number:**上の Type で、**MIDI CC** が選ばれている場合、ここで、送出する MIDI CC (コントロール・チェンジ) 情報を設定します (**000~127**)。

**Min / Max:**上の Type で、**Aftertouch** が選ばれている場合、送出される情報の最低値 (**Min**) と最大値 (**Max**) を設定します (**000~127**)。

**MIDI to DIN:**フェーダを操作して送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

## スイッチ (01~12)

**Type:**スイッチを操作して送出する MIDI 情報の種類を設定します。**CC**、**Note**、**PrgChange**(プログラム・チェンジ)、**PrgBank** (プログラム・バンク)、**KeyStroke**の中から設定します。

**MIDI Channel:**スイッチを操作して送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1~16**、**USB B1~16** から選択します。

**Note:**上の Type で、**Note** が選ばれている場合、ここで、ノートナンバを設定します。

**Velo (Velocity):**上の Type で、**Note** が選ばれている場合、ここで、ベロシティを設定します (**000~127**)。

**CC Number:**上の Type で、**CC** が選ばれている場合、ここで、送出する MIDI CC (コントロール・チェンジ) 情報を設定します (**000~127**)。

**MIDI to DIN:**スイッチを操作して送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

**Mode:**上の Type で、**CC** または **Note** が選ばれている場合、スイッチの挙動を、**Momentary** モード (スイッチを押した瞬間に On 情報が送出され、離すと Off 情報が送出される) か、**Toggle** モード (一度スイッチを押すと On 情報が送出され、次にもう一度押した時に Off 情報が送出される) に設定します。

**Invert:**上の Type で、**CC** が選ばれている場合、スイッチがオフの時に「000」の値を、オンの時に「127」を送出しますが、これを逆にしたい場合に、この設定をオンにします。

**Program Number (または Pgm):**上の Type で、**PrgChange** または **PrgBank** が選ばれている場合、ここでプログラム・ナンバを設定します (**000~127**)。

**Msb / Lsb:**上の Type で、**Program Bank (PrgBank)** が選ばれている場合、ここで **MSB** (Most Significant Bit) および **LSB** (Least Significant Bit) を設定します (**000~127**)。

**Key#1:**上の Type で、**KeyStroke** が選ばれている場合、ここで、送出するキーストロークを設定します。**0~9**、**A~Z**、**F1~F12**、**Backspace**、**Return**、**Up Arrow**、**Down Arrow**、**Left Arrow**、**Right Arrow**、**Tab**、各記号(.,/[ ]\' ; - =)、**Esc**、**Insert**、**Home**、**Page Up**、**Delete**、**End**、**Page Down**、**Num 0~9**の中から設定します。



**Key#2** : 上の Type で、**KeyStroke** が選ばれている場合、ここで、上の **Key#1** で設定したキーストロークと同時に送出するモディファイ・キーを設定します。**None**、**Control**、**Shift**、**Alt**、**Option**、**Control-Shift**、**Control-Alt**、**Control-Option**、**Shift-Alt**、**Shift-Option**、**Alt-Option**、**Control-Option-Alt**、**Control-Shift-Alt**、**Control-Shift-Option** の中から設定します。

**ヒント** : HID (Human Interface Device) プロトコルは、標準的なコンピュータのキーボードのキー情報を送信します。USB ゲームコントローラなどがこれの一例で、コンピュータのキーボードの代用として動作します。MPD226 はこの HID プロトコルに対応し、ソフトウェアのキーボード・ショートカットなどを、コンピュータのキーボードを使わずに MPD226 だけで送信することが可能です。

## ノブ (01~12)

**Type** : ノブを回して送出する MIDI 情報の種類を設定します。**MIDI CC**、**Aftertouch** (アフタータッチ)、**INC/DEC1**、**INC/DEC2** の中から設定します。

**MIDI Channel** : ノブから送出される MIDI 情報の MIDI チャンネルを設定します。**Common**、**USB A1~16**、**USB B1~16** から選択します。

**CC Number** : 上の Type で、**MIDI CC** または **INC/DEC2** が選ばれている場合、ここで、送出する MIDI CC (コントロール・チェンジ) 情報を設定します (**000~127**)。

**MIDI to DIN** : ノブを回して送出する MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

**Min / Max** : 上の Type で、**MIDI CC** または **Aftertouch** が選ばれている場合、ノブを回して送出される情報の最低値 (**Min**) と最大値 (**Max**) を設定します (**000~127**)。

**Msb / Lsb** : 上の Type で、**INC/DEC1** が選ばれている場合、ここで **MSB** (Most Significant Bit) および **LSB** (Least Significant Bit) を設定します (**000~127**)。

**Valute** : 上の Type で、**INC/DEC1** が選ばれている場合、増加 (CC#96) もしくは減少 (CC#97) によって送信される値を設定します (**000~127**)。

## Note Repeat (ノート・リピート)

**Time Division** : NOTE REPEAT 機能における音符の単位を設定します。**1/4**、**1/4T**、**1/8**、**1/8T**、**1/16**、**1/16T**、**1/32**、**1/32T** の中から設定します (T は 3 連符を表します)。

**ヒント** : Tap Tempo (タップ・テンポ) のパラメータでも設定可能です。詳しくはエディットモード:**Tempo** (タップ・テンポ) の項目をご参照ください。

**Mode** : NOTE REPEAT ボタンの挙動を、**Momentary** モード (スイッチを押している間だけノート・リピートがオンになる) か、**Toggle** モード (一度スイッチを押すとノート・リピートがオンになり、次にもう一度押した時にノート・リピートがオフになる) に設定します。

**Gate** : NOTE REPEAT 機能における音の長さを設定します。上の Time Division で設定した音符に対して **00~99%** の範囲で設定できます。

**Swing** : NOTE REPEAT 機能におけるスイングの値を設定します (**50%~75%**)。

## Tempo (TAP TEMPO / タップ・テンポ)

**重要:** グローバル・モードにもテンポに関するパラメータを設定する項目がありますが、グローバル・モードでの設定はプリセットには保存されません。詳しくは**グローバルモード > Tempo (テンポ)** の項目をご参照ください。

**BPM:** テンポを設定します (30~300)。

**ヒント:** BPM はタップ・テンポ・ボタンをテンポに合わせて数回押すことで設定することも可能です。

**Time Division:** NOTE REPEAT 機能における音符の単位を設定します。1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T の中から設定します (T は 3 連符を表します)。

**ヒント:** NOTE REPEAT ボタンのパラメータでも設定可能です。詳しくは**エディットモード > Note Repeat (ノート・リピート)** の項目をご参照ください。

**Gate:** NOTE REPEAT 機能における音の長さを設定します。上の Time Division で設定した音符に対して 00~99% の範囲で設定できます。

**Swing:** NOTE REPEAT 機能におけるスイングの値を設定します (50%~75%)。

## Transport (トランスポート・コントロール / 停止、再生、録音)

**Type:** トランスポート・ボタンを押して送出する MIDI 情報の種類を設定します。MMC、MMC/MIDI、MIDI Real Time、MIDI CC、PTEX (Pro Tools Express) の中から設定します。

**MIDI to DIN:** トランスポート・ボタンを押して送出される MIDI 情報を、背面の MIDI 出力端子経由で送出するかどうかを設定します。この設定にかかわらず、USB 経由で MIDI 信号は送出されます。

### グローバルモード

グローバルモードでは、MPD226 の一般的な設定を行います。この設定は特定のプリセットではなく、すべてのプリセットに影響があります。

グローバルモードの各項目を設定するには：

1. **GLOBAL** ボタンを押して、グローバルモードに入ります。
2. グローバル・モードの各ページにおいて：
  - ・ **上下カーソルボタン**で現在のページ内のパラメータを移動できます。
  - ・ **左右カーソルボタン**でページを移動することができます。
  - ・ **データダイヤル**を回すことで、現在選択されている値を変更します。
3. 新しいグローバルモードの設定を保存するには、左右カーソルボタンで **Save Globals** ページを選択し、**データダイヤル**を押して、保存を実行します。操作をキャンセルするには、**左右カーソルボタン**で別のページに移動して、**GLOBAL** ボタンを押します。

設定可能なパラメータについては、以下の各項目をご参照ください。

## MIDI Channels (MIDI チャンネル)

**Common Chnl (Channel):** MIDI コモン・チャンネルの設定を行います。USB A1~16、USB B1~16 から選択します。

## Note Display (ノート・ディスプレイ)

**Type** : ノートナンバの表示を、音階 (**Value**) で表示するか (例 : C2、F#3 など)、数値 (**Number**) で表示するか (例 : 36、54 など) を設定します。

## Pads (パッド)

**重要** : エディットモードで設定したパッドのパラメータは、そのプリセットに保存され、グローバル設定には保存されません。詳しくは**エディットモード : パッド**の項目をご参照ください。

**Threshold** : パッドが反応する「叩く強さの最小値」を設定します (**0~10**)。例えば、パッド演奏中に意図しない「ゴーストノート」が鳴ってしまう場合などは、この値を大きく設定します。

**Pad Curve** : パッドのベロシティカーブの設定を行います。**Linear** (リニア)、**S-curve** (S 字カーブ)、**Log 1** (ログ 1)、**Log 2** (ログ 2)、**EXP 1** (エクスポネンシャル 1)、**EXP 2** (エクスポネンシャル 2) の中から設定可能です。

**Pad Gain** : パッド全体のベロシティに対する感度の設定を行います (**00~20**)。この値が高いと感度が高くなり最大ベロシティが出やすくなります。

## Tempo (テンポ)

**重要** : エディットモードで設定したテンポのパラメータは、そのプリセットに保存され、グローバル設定には保存されません。詳しくは**エディットモード : パッド**の項目をご参照ください。

**Tempo** : グローバルのテンポを設定します (**30~300**)。

**Tap Average** : TAP TEMPO ボタンを押した際、テンポが算出されるまでのタップ回数を設定します (**2~4**)。

**Tempo LED** : 本機の MIDI クロック設定が Internal に設定されている場合に、**TAP TEMPO** ボタンがテンポに合わせて点滅する動作の**オン/オフ**設定を行います。

## Clock (クロック)

**Source** : MPD226 のクロックを、**Internal** (内部クロック) か **External** (外部クロック) に切り替えます。外部 MIDI デバイスのテンポに合わせて動作させるには、External (外部クロック) に設定します。

## SysEx (システム・エクスクルーシブ)

**Send Program** : SysEx (システム・エクスクルーシブ) で MPD 本体のプログラムデータの送信を行います。送信は MPD 本体のプログラムの番号を指定して個別に行うか (**01~20**)、**ALL** を選択して、一度にすべてのプログラムの送信を行います。**データダイヤル**を押して送信を開始します。

## Utilities (ユーティリティ)

**Contrast** : 液晶ディスプレイのコントラストの調整を行います (**0~99**)。

## Save Globals (グローバル設定の保存)

このページで、データダイヤルを押して、変更したグローバル設定の保存を行います。

## Reset Globals (グローバル設定の初期化)

このページで、データダイヤルを押して、グローバル設定を工場出荷時に戻します。

## OS

このページで、本機のオペレーティングシステム情報を確認できます。

## 付録

### 仕様

パッド：	16 (ベロシティ&プレッシャ対応、バックライト、4 パッドバンク、Note/Program/Program Bank をアサイン可能)
ノブ：	4 (360°回転アサインナブル、3 コントロールバンク、CC/Aftertouch/Inc-Dec1/Inc-Dec2 をアサイン可能)
フェーダ：	4 (45mm、3 コントロールバンク、CC/Aftertouch をアサイン可能)
アサインナブル・ボタン：	4 (3 コントロールバンク、CC/Note/Program/Program Bank/Key Stroke をアサイン可能)
その他ボタン：	10 x ファンクション・ボタン、3 x トランスポートコントロール・ボタン、4 x カーソルボタン
ディスプレイ：	20 文字 x 4 行
端子：	USB 端子 x 1、AC アダプタ端子 (AC アダプタ別売)、1/8" MIDI 入出力端子 (1/8"-MIDI 変換ケーブル付属)、Kensington ロック
電源：	USB バスパワー、AC-USB アダプタ (別売)、AC アダプタ (別売・6V DC、1A、セントラ+)
サイズ (W x D x H)：	約 33.3cm x 25.4cm x 4.8cm
重量：	約 1.3kg

### 商標およびライセンス

AKAI professional は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Apple および iPad は、Apple Inc. の商標またはサービスマークで、米国およびその他の国々で登録されています。

Avid および Pro Tools は、Avid Technology, Inc. の米国およびその他の国々における商標または登録商標です。

IOS は、Cisco の米国およびその他の国々における登録商標で、ライセンスに基づき使用されています。

Kensington および K & Lcok ロゴは ACCO Brands の登録商標です。

その他のすべての製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

